

【株式会社トライテック】

講師：常務取締役 高橋 一生氏

テーマ：新卒学生が就職時に選択する就職先と将来に思い描くキャリア・人生設計とのミスマッチを減らすため、企業と学校ができることは何か？

〈概要〉

新卒・中途と採用活動を継続する中で、様々な方のキャリアを拝見することがある。

採用活動の中で感じることは、地方においても、地元で就職したい人は多いものの、大手有名企業やその子会社に率先して就職を希望するブランド志向のような傾向が極めて強いように感じる。その中にはかなり優秀な人も多いように見受けられる。

しかし、経験の中で様々なキャリアの方を拝見し、社会情勢や企業動向を拝見する限り、大手有名企業やその子会社に就職したから安泰ということでは必ずしもないように感じる。

例えば、昨今のコロナ禍においても発生前は超優良企業と名高かったにも関わらず、業界によってはビジネスの前提が変わってしまい、たった数ヶ月で著しく状況が悪化してしまった企業がいくつも見受けられるのはご承知の通りだろう。

また、売上1兆円以上のいわゆる有名企業が採用するのは、旧帝大か早稲田慶応からの卒業生が中心であり、企業規模といわゆる大学のランクが見事に対応しているケースが多い。当然、就職したとしても、就職後に社内でも中心として活躍していくには、より激しい競争に打ち勝つ必要があり苦労も多いだろう。有名企業の中では埋もれてしまったが、別の会社ではもっと活躍できたかもしれないということもあるだろう。

さらに、大手有名企業の子会社の場合、あくまで子会社であり、本社の意向に左右される傾向も大きいように思われる。本社からみれば、子会社は給与体系や休日数など待遇が異なる社員を受け入れるために仕組みという側面もあるかもしれない。実際、柏崎でも、本社の意向で有名企業の子会社事業所が閉鎖になってしまったという事例がいくつも見られた。

もちろん、地方の中小企業を選択するほうが良いというわけでは全くない。一方で、一般的に企業規模と給与体系や休日数など待遇が見事なまで相関している事も事実である。政府も、中小企業を整理統合して中堅企業を作ろう、という明確な政策をスタートしている事もご承知の通りである。

しかしながら、有名企業以外であっても、地方の中堅企業の中にも、有名企業に同等の待遇で、積極的な事業を行っており、有名企業で活動するよりも自分の能力を発揮して企業の中心に立てる可能性も高いという企業もあるだろう。

例えば、当社は、地方にあって県内上場企業の平均レベルの給与や待遇を実現し、知識やノウハウをベースにしたハイテク事業を展開し、中国に子会社を持ち東アジアや米国にも製品を出荷しているインターナショナルな要素を持ち、自らの判断でリスクを考え事業

展開しているので誰かに会社を閉める、などという事を言われる必要がない自立した会社、事業を展開している。

当然、当社を含め、地方の中小中堅企業は、有名企業でなくても、待遇も引けを取らず、有名企業にない魅力があることを学生にアピールし、学生にとって有益な選択肢となることをアピールする必要がある。

学生が、以上のような大手有名企業やその子会社、地方の中堅・中小企業の双方のメリット、デメリットを、自分で充分検討し、理解した上で、進路の選択をするのであれば、一つのベストな選択となるだろう。

しかし、単に知名度や待遇がいいからと入社してみたものの、後で上記のような問題に気が付き、それが、自分が求めるキャリアとのミスマッチとなり、能力を発揮できなかったり、転職を繰り返したりという事態になっては本人にとっては重大な問題であろう。社員は、そこで生き、生活し、家族を養うのであるから、このようなミスマッチが生じることは大変だ。年齢を重ねてから方向転換するよりは、新卒時に、注意深く選択をする方がより確実であろう。

学生は自分の将来を考え、キャリアの蓄積や家族の保護を人生の時間軸で考えるだろうし、そうあるべきだ。しかし、就職時に深く人生を考え、将来を考える人は多くないかもしれない。ここがミスマッチの原点、1丁目1番地ではないかと思う。

以上のようなミスマッチを解決するために、企業としては、学生に対して、様々な有益な選択肢があり、自らの企業がその一つであると、理解してもらうよう努力する必要がある。

しかし、その前に、学生には、通り一遍の価値観ではなく、様々な視点から自分の将来・人生設計を、より「現実的」に深く考える機会やそのきっかけが必要ではないか？そのために、企業・学校が協力してできることがあるのではないか？

以上のようなミスマッチを解決するために、企業側、学校側、又は企業・学校が協力してできるアプローチには、どのようなものがあるだろうか？